

前穂高岳（北尾根）

2016 年 9 月 3 日（土）・9 月 4 日（日）

メンバー：L 佐々木（記）、岩川



アクセス：

沢渡駐車場で前泊

9 月 3 日（土）：快晴

岩川さんさんは初めての上高地。最高の天気の中を順調に進む。

気になるのは、翌日の天候。できれば、明日は午前中に核心部を抜きたいところ。当初の予定は涸沢までだったが、できるだけ先に進むべく少しペースを上げた。

北尾根 5．6 のコルで先行者に出合う。彼らは 3．4 のコルまで進むとのこと。

私達も 3．4 のコルまで進めたいところであったが、テントスペースが確保できるか心配だったので、行動を打ち切り 5．6 コルでの泊まりとした。



河童橋から



涸沢も全く雪渓はなし



ガレをジグザグに登り 5. 6 のコルへ

設営を終えて岩川さんさんはテントで昼寝。佐々木は外の岩で湿ったシュラフを乾かしながら寝そべりマッタリする。

16 時頃から徐々に雲が広がり、時折 5 峰がガスで見えなくなる。

明日は足下が見え始めたら歩き出せるようにと 2 時半を起床とする。

18 時頃、寝ようとしていたところ、5 峰の方から落石の音と女性の声がした。

テントから覗いてみれば、女性の二人組がヘッデンで 5 峰を下りて来る。どうやら奥又白から東面を登ってきた様子。そのままヘッデンで奥又白へ下りていった。

コースタイム：上高地 0700－0930 横尾 0940－1200 涸沢 1230
1350 5. 6 のコル

9月3日（土）：ガス～晴れ～曇り



5．6のコル



夜明け頃



神々しい雲海に好天の期待

予定どおり2時半に起床。

夜中の雨は止んでいたが、ガスで数メートル先までしか見えない。取り敢えず朝食を摂りながら回復を待つことにする。

松本は9時頃から雨の予報。6時まで待って回復しなければ撤収しようと算段し、準備だけ整えて二度寝を決め込む。

4時半頃、外が少し明るくなったのでテントの外を覗けば・・・何と！！

5峰がドーンと目に飛び込んできた。雲の切れ間には星も見える！

大慌てでテントを撤収し、早速5峰に取り付いた。

5峰は、リッジを進み途中から奥又白側のガリーを登った。踏み跡が明瞭なと

ころが多かった。また、ルート不明瞭になる箇所も慎重にルートを探せば容易に進むことができた。



ガレガレのⅣ峰



核心部 Ⅲ峰

4 峰は、写真で見ていたよりも大きな岩が目につき、3 峰と見間違えるような姿だった。取り付いてみれば、ルートは難しくなかったが、やはり浮いた岩が多く慎重さが求められた。

いよいよ核心の3 峰。

1 ピッチ目は佐々木がリード。高度感たっぷりのクライミングを楽しんだ。

2 ピッチ目は岩川さんのリード。10 m 程度登り、大きく右に曲がることとなったので一旦ピッチを切り直して、そのまま岩川さんがリードでチムニー右側チョックストーンのある凹角を抜ける。

4 ピッチ目は歩ける程度の斜面だったが、念のために佐々木がロープを延ばす。

5 ピッチ目、岩川さんのリードでⅢ峰頂上へ抜けた。

目指す前穂高本峰は目の前だった。

2 峰からの6～7 m の下りは念のために懸垂で下りた。

山頂は多くの登山者で賑わっており、それまでの静寂なクライミングとは別世界に感じられた。紀美子平までの登山道は登り下りのすれ違いで大渋滞だった。

重太郎新道を下り岳沢小屋からは足早に上高地へ下りた。

経験の少ない二人組でのアルパイン。

二人とも多少緊張していたが、驚くほどに全てが順調な山行だった。

梓湖畔の湯で汗を流し浜松に向けて走り出した頃、雨が降り出した。山には積乱雲がかかっていた。

コースタイム：5. 6 のコル0500－0900 本峰0920－1120 岳沢小屋1135－1245 上高地



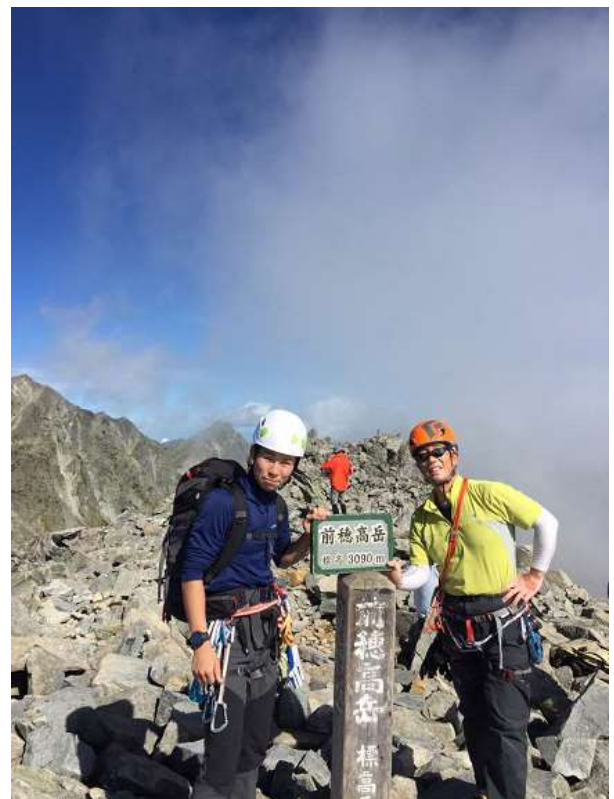
Ⅲ峰取り付き



凹角を抜けてⅢ峰頂上へ



Ⅱ峰頂上から懸垂



本峰頂上

佐々木 記